

イサダ情報



平成 23 年 2 月 17 日発行

岩手県水産技術センター漁業資源部

TEL : 0193-26-7915

FAX : 0193-26-7920

E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

5℃以下の冷水が黒埼沖 40 海里（74km）に停滞しています。

沿岸におけるイサダの魚探反応は低調です。

1 海況の現況（2 月 17 日現在：JAFIC 提供海況図）

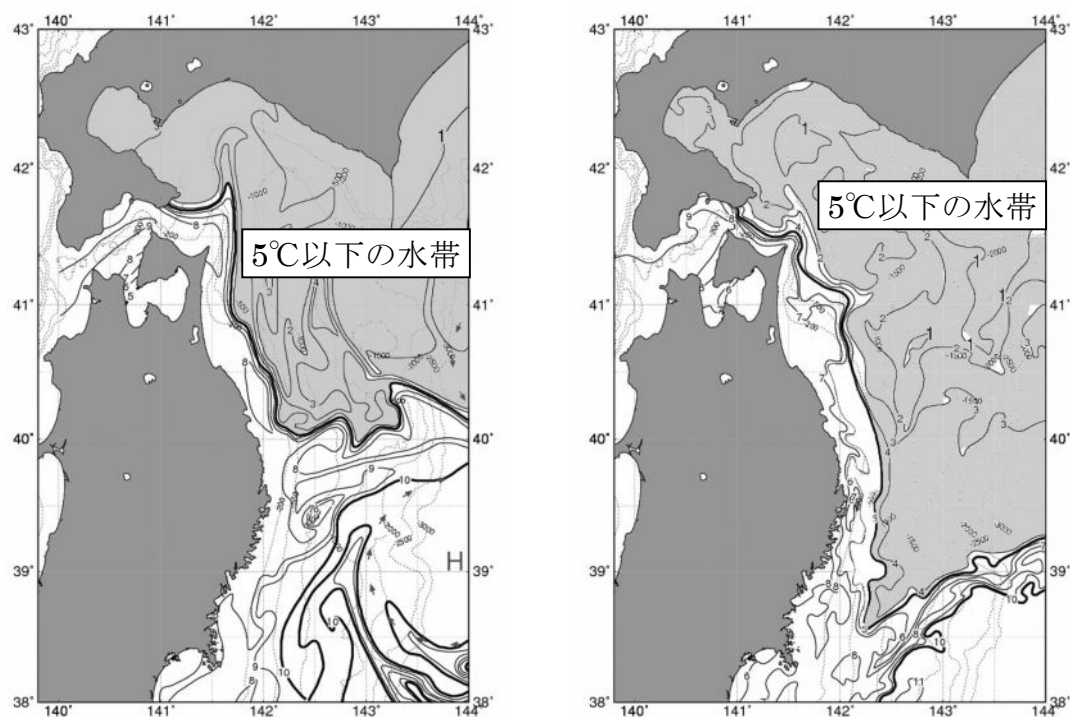


図 1．三陸沖合域の表面水温図（左図：現況、右図：前年同期）

表面における 5℃以下の水帯は、県北部沖 20 海里（37km）以東を南下し、その先端は黒埼沖 40 海里（74km）にあります。前年と比較すると 80 海里（148km）程度北偏しています。また、10℃以上の水帯は、椿島沖を中心とする暖水塊を形成し、その先端は宮古市田老真埼沖 90 海里（167km）にあります。前年と比較すると 60 海里（111km）程度北偏しています。

椿島沖に存在する暖水塊がその勢力を維持し県南部沖に停滞しているため、冷水の南下が阻害されている可能性があります。

2. イサダ漁場調査結果

- (1) 平成 23 年 2 月 16・17 日に魚群探知機を用いてイサダ漁場調査を実施しました(図 2)。

調査においては低周波(28kHz)よりも高周波(200kHz)に強く反応する魚群をイサダと判断し、高周波よりも低周波に強く反応する魚群をイワシ等魚類と判断しました。

調査を実施した宮古市田老真埼から綾里埼までにおいては、大釜埼から三貫島までの沿岸において海底から 20~30m の層にイサダと推察される魚群が散見されましたが、その規模は小さく漁獲対象になり得ない魚群と判断されました。また、尾埼から綾里埼までの沿岸においてはイワシと推察される魚群が点在し、イサダと推察される魚群は確認されませんでした。

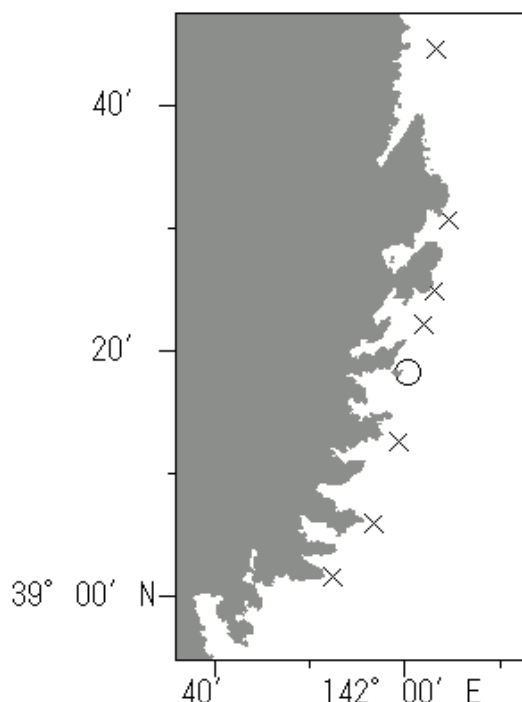


図 2. イサダ魚探反応位置図

- イサダと推察される魚群が確認された海域に「○」を、水温観測を行った海域に「×」を示しています。
- (2) 調査を実施した宮古市田老真埼から綾里埼までの水温は表面から低層まで 7℃台であり、7℃台の水帯が岩手県沿岸部に分布し、変化の乏しい水塊配置となっている可能性があります(別表 1)。

3. イサダ漁の見通し

- (1) 2 月 16・17 日に実施したイサダ調査の結果では、尾埼以南の海域ではイワシの魚群が点在しイサダの魚群が確認されなかったこと、三貫島以北の海域において極薄いイサダの魚群が沿岸部で散見されたことから、現状の水塊配置が解禁まで継続した場合、漁期当初は県央部付近の沿岸に漁場が形成されると推察され、冷水の沿岸への張り出しおよび南下とともにその漁場は県南部に波及していくものと考えられます。
- (2) 現状では冷水は県北部に停滞していますが、暖水塊の沖側への移動により、急速に冷水が沿岸部へ派生してくる可能性もありますので、水塊配置の変化に注目してください。
- (3) 今後もイサダ漁場調査を行ない無線局経由で情報提供を行ないますので、操業の参考にしてください。

別表1

年月日	2011/2/16	2011/2/17	2011/2/17	2011/2/16	2011/2/16
北緯	39° 44.81′	39° 30.91′	39° 25.08′	39° 22.42′	39° 18.39′
東経	142° 03.08′	142° 04.47′	142° 02.83′	142° 01.84′	142° 00.01′
0m	7.0	7.5	7.5	7.3	7.3
5m	7.0	7.5	7.3	7.1	7.1
10m	7.1	7.5	7.3	7.1	7.0
30m	7.1	7.5	7.3	7.2	7.1
50m	7.2	7.4	7.3	7.2	7.1
100m	7.2	7.4(90m)	7.3(74m)	7.3	7.2(94m)
備考					イサダ反応あり

年月日	2011/2/16	2011/2/16	2011/2/16
北緯	39° 12.70′	39° 06.09′	39° 01.76′
東経	141° 59.14′	141° 56.47′	141° 52.15′
0m	7.3	7.2	7.5
5m	7.1	7.2	7.2
10m	7.1	7.2	7.2
30m	7.2	7.1	7.2
50m	7.2	7.1	7.2
100m	7.3	7.3	7.2(68m)
備考			